

小俣中だより

R4.11.28

No.11

伊勢市立小俣中学校

校長 西岡 幸一

Tel22-3610 Fax27-3028

【学校教育目標】

《《 豊かな心と確かな力をもった生徒を育成する 》》

◆令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について◆ (学力調査結果編)

大変遅くなりましたが、4月19日に実施された全国学力・学習状況調査について、本校の結果をお知らせします。実施調査は、国語科と数学科、理科の3教科と学習状況の質問紙調査です。調査結果の公表が8月末に行われて、3年生には個人の調査結果が配付されていることと思います。

三重県の中学校を全国の平均正答率と比較してみます。数学は0.6ポイント上回りましたが、国語は1ポイント、理科は1.3ポイント下回っていました。本校は、全国の平均正答率と比較すると、国語と理科は1~1.7ポイントほど上回り、数学においては8ポイント近く上回るという結果でした。

この結果だけを見ても、本校は総じて学習の理解度や意欲が高いことがわかります。しかし、あくまでも平均であって、個人に目を移すとそれぞれ一概には言えません。平均正答率は一つの資料であって、学校としてどのような学習指導が適切であるのかを計るものといえます。細かい領域ごとに学校全体や個人ごとにどのような部分が良くできているか、できていないかを分析することで、授業を見直し改善につなげたり、家庭学習のしかたを考えたりする資料とするのが実施の意義です。

それでは、各教科の領域ごとに見ていきます。

【国語】

学習指導要領の内容の区分で本校の結果を推し量ると、知識及び技能、思考力・判断力・表現力等とも平均を上回りました。しかし、領域ごとを区分別に見てみると、強み弱みが浮かび上がってきました。

○知識及び技能・・・「**言葉の特徴や使い方に関する事項**」、「**我が国の言語文化に関する事項**」については、全国を上回っています。しかし、「**情報の扱い方に関する事項**」については、大きく下回りました。

○思考力・判断力・表現力等・・・「**話すこと・聞くこと**」、「**読むこと**」については全国を大きく上回り、「**書くこと**」については、大きく下回りました。

(分析と対策)

大きく下回った「情報の扱い方に関する事項」、「書くこと」の区分については、資料から情報を引用し、自分の考えが伝わる文章になるように根拠を明確にして書くという作業が求められていました。大人でも難しいことではと思うのですが、日ごろから情報を正確につかんで自分なりの考えをまとめる習慣をつけていくことを意識していく必要があります。自宅等でも新聞や読書等の機会を増やしていくことが効果的です。

「書くこと」については、授業でのふりかえりやまとめの機会を増やすことや、作文や日記などの習慣をつけるなど様々な工夫をしていくことも効果的ではないでしょうか。少し飛躍しますが、大学入試でもセンター試験から共通テストに移行し、すべての教科の問題文の量が倍以上となり読み取りの力が不可欠となっています。総合的な国語力を身につけることは、すべての教科のレベルアップにつながっていくと考え、学習を進めていってほしいと思います。(昨年紹介した内容です)

【数学】

学習指導要領の領域等の区分別で本校の結果を見ると、4領域の「**数と式**」、「**図形**」、「**関数**」、「**データの活用**」すべて全国平均を大きく上回りました。

しかしながら、「42を素因数分解する」という問題のみ下回りました。最初の問題で、基本的な知識・技能があれば正答できたはずが、誤答してしまった人も多かったようです。データの的に、知識・技能は高いと考えられますので、それらを使いこなせるように鍛錬してもらえればと思います。「データの活用」については、社会科や理科などをはじめとする教科でも身につけなければいけない力です。資料やデータを的確に読み取るには、様々な表やグラフ等に慣れることが必要であると考えられます。教科横断的な学習の課題ととらえ、苦手な人はその克服に積極的に取り組んでほしいと思います。



【理科】

学習指導要領の領域等の区分別で本校の結果を推し量ると、4領域の「エネルギー」、「粒子」、「生命」、「地球」すべて全国平均を上回りました(それぞれ物理・化学・生物・地学を中心とした領域)。とくに、エネルギーと地球の領域は、大きく上回っています。

本校だけでなく全国的にも正答率が30%を下回ったのは、気象現象をデータに基づいて判断する問題、水素を燃料として使うしくみについての問題、重りに働く重力と釣り合う力を説明する問題の3問でした。それぞれ領域は違いますが、資料やデータをもとに論理的に考え、正答を導き出す力が問われています。日頃の生活の中で、様々な自然現象等に疑問や興味をもって、その解決まで到達させる習慣をつけていくことが理科を好きになり、得意にすることにつながるのではと思います。

上記のような分析はすでに、授業等の学習指導の中で生かしてもらっています。みなさんはそれぞれ得意不得意等特徴があると思いますので、不得意な領域を改善し得意なところをより伸ばせるよう自分に合ったやり方等を見つけていってください。

※学習状況調査の結果については、次号で報告します。

次回のアルミ缶回収は12月14日(水)・15日(木)です。ご協力よろしくお願いします。

11月は9日、10日の2日間にアルミ缶回収を行いました。秋も深まりアルミ缶に入った飲料水を消費する頻度も少なくなってきたのと、10月の回収からわずか3週間しか空いていなかったこともあってか、全校で18,400個という回収個数となりました。生徒数で単純計算すると、一人当たり30個ほど持ってきてもらっていたということになります。中には、毎回のように数百個単位で持ってきてくれるおうちもあります。近くの事業所や企業が気にかけてくれて何袋も届けてもらうこともあります。本当にありがたいことです。小俣中学校でアルミ缶回収の取り組みを行っていることが、地域の方々にも浸透していることの証でもあるのかなと思っています。



今までの回収で、162,028個を集めることができましたので、生徒会が掲げている目標35万個を達成するためあと19万個ほど必要です。今年度は残すところ3回の回収となりますので、1回当たり6万個以上(一人当たりとなると100個ほど)の回収が必要となります。目標を達成するにはちょっと難しいと思いますが、少しでも個数を上積みできるよう協力をお願いします。回収日前から少しずつ持ってきてもらうことも可能です。無理のない中でのご協力をお願いします。



朝の時間、ゆとりを持って！予鈴8時20分を目安に！



12月を直前にして、朝夕はめっきり肌寒くなってきました。そのせいだけではないと思いますが、8時20分予鈴から8時25分本鈴までの時間が慌ただしく、遅刻ギリギリの生徒が目立ってきました。家を出るのが遅く急いで登校すると、交通事故のリスクが高まるのではと心配します。

生徒のみなさんは、8時20分の予鈴までに教室に入って本鈴を迎えられるよう、生活を見直してください。朝はゆとりを持って朝食を取り、今より5分10分早く家を出る習慣をつけてください。

欠席等連絡は、7時30分～8時10分までに保護者からいただくことになっています。しかし、保護者からの連絡なく、25分の本鈴チャイムに靴がない場合、学校はご家庭に連絡させてもらっています。これは安全確認のためです。学校からご家庭に電話を入れることは、保護者の方にも心配や手間をかけてしまいます。遅刻することのないように、余裕をもって登校してきてください。

11/24 3年薬物乱用防止教室



11/13 小俣町文化祭(芸能発表会) バトン部出演

